

第 25 回「震災対策技術展」横浜に於ける事故防止、公衆衛生対策について

「震災対策技術展」事務局は、会場であるパシフィコ横浜と連携し、事故防止・公衆衛生等につき、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室の事務連絡「業種別ガイドライン」（令和 3 年 1 月 15 日時点）、横浜市文化観光局「安心・安全な横浜 MICE ガイドライン」（令和 2 年 10 月 22 日版）、「パシフィコ横浜における新型コロナウイルス感染予防ガイドライン第 6 版」（2020 年 12 月 1 日）に則り、以下の対策を講じます。

1. 衛生対策

1) 会場（パシフィコ横浜）が実施する対策

- (1) 各施設のエントランスに手指用アルコール消毒を設置。
- (2) 手すり、ドアノブ等、手に触れる部分の消毒の実施。
- (3) トイレ便座クリーナーを各個室に設置。
- (4) 飛沫防止のため、トイレ内ハンドドライヤーの運転の停止。
- (5) 会場内の空調他、常時換気の実施。
- (6) ホワイエやコンコース等の休憩用椅子は、ソーシャルディスタンス確保のため、間引き、或いは距離を空けて設置。
- (7) 密閉、密集を避けるため、喫煙所を閉鎖。
- (8) 常設の救護室とは別に、感染症の疑いのある患者用の指定救護室を設置。
- (9) 各施設入口に、会場に於ける「新型コロナウイルス感染症対策に関するご案内」を掲示。
- (10) 神奈川県「LINE コロナお知らせシステム」の導入。
- (11) スタッフの出勤前の検温、マスク着用の実施。

2) 事務局が実施する対策

- (1) 「咳エチケット」、「手洗い」、「感染症対策」に関する感染症対策ポスター（厚生労働省発行）を掲示し、感染拡大防止の周知徹底を図ります。
- (2) 会場入口、受付、セミナー会場、共用スペース等に消毒液を設置し、常に使用出来る状態にします。
- (3) 全ての関係者に、厚生労働省「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」、及び神奈川県「LINE コロナお知らせシステム」を登録いただきます。
※ 登録用端末をお持ちでない方には、連絡先を登録用紙にご記入いただき、後日連絡が出来るようにします。
- (4) 全ての関係者に、検温を実施し、37.5℃以上の方のご入場をお断りします。
- (5) 全ての関係者に、会場内でのマスク着用を要請します。
- (6) 会期中は、入場証（QR コード）にて入場管理を行い、収容人数を把握します。
- (7) 大声での会話・呼び込み等は、禁止します。
- (8) 密集、密接を回避したブース内のレイアウトに留意いただきます。

- (9) セミナー実施時は、会場内の換気徹底、空気清浄機の使用、席数を削減した上で、座席間隔の確保、講師と聴講者の距離を 2m 確保、飛沫感染防止板の設置等の感染症予防に努めます。

※ 安心・安全な開催を実現させるため、今後の状況に注視し、政府、神奈川県・横浜市の対応を鑑みながら、適切な措置を講じます。

2. 事故防止対策

- 1) 会場内出入口、非常口前、廊下、ロビー等に、障害物を置かないよう徹底します。
- 2) 催物会場等、顧客が集中する場所については、収容人数を把握するとともに、適切な誘導整理が行なえるよう警備員を配置し、管理します。
- 3) 自衛消防隊を組織し、火災その他災害発生時には、パシフィコ横浜と連携し、速やかに対処します。

以上